

おながわ



ONAGAWA ASSEMBLY NEWS

元気はつらつ

織姫と彦星 発見

議会だより



6月定例会のあらまし・第3回臨時会 2～5

復興シリーズ第1弾・女川魚市場 6～7

ズバリ町政を問う（9議員が一般質問） 8～17

議会・住民懇談会 18～19

キラキラ・いきいき「ゆめハウス」 20

No.

141

平成27年7月22日

6 月 定例会

予算総額は55億円増の405億円に

町中心部災害公営住宅

荒立・大道①地区8月着工へ

6月定例会は16日から

18日までの3日間の会期

で開かれ、初日から2日

間にわたり9人の議員が

一般質問を行いました。

一般議案19件と条例の

制定4件、補正予算8件、

発議案1件を集中審議し

ました。

その結果、すべての議

案を原案のとおり可決し

ました。

財産の取得

工事名	高白浜地区離半島部 災害公営住宅	荒立・大道①地区 災害公営住宅	女川駅北地区 災害公営住宅
金額	2億1000万6000円	6億9500万9000円	54億9677万8000円
取得先	女川町復興公営住宅 建設推進協議会	独立行政法人 都市再生機構	独立行政法人 都市再生機構
工期	平成27年6月～ 平成27年12月入居	平成27年8月～ 平成28年10月入居	平成27年12月～ 平成29年2月入居
概要	木造平屋建て6棟6戸 木造2階建て4棟4戸 その他関連施設	鉄筋コンクリート造 4階建て1棟18戸 その他関連施設 屋上に太陽光パネルを 設置	鉄筋コンクリート造 5階建て4棟145戸 その他関連施設

主な内容および質疑は、次のとおりです。

一般議案・条例

問 女川駅北地区の
1戸当たりの単価
と、運動公園住宅との比
較は。

答 駅北1戸当たり
約3500万円で、
運動公園住宅は約220
0万円ほど。建築費の高
騰等によるものです。

問 運動公園住宅
の反省をふまえて、
取り入れたものは。

答 下足入れをタイ
プごとに大きさを
変化させ、玄関のバリア
フリー化。流し台をL字
からI型、直線に変更な
どです。



基盤整備まもなく完了（荒立・大道①）

子ども医療費を拡充

10月から助成対象者を18歳までに



道路かさ上げ最大65センチメートルに
(針浜工区)

財産の処分

○運動場西地区33区画の分譲について

・金額

2億451万2206万円

条例の制定

○女川町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正

子育て支援策のさらなる充実を図るため、助成対象者を15歳から18歳まで拡充

○女川町介護保険条例の一部改正

第一号被保険者のうち、第一段階の保険料率を0・5から0・45に軽減

問

女川駅北に災害公営住宅ができることで、運動場西に対しての日照の影響は、

答

日照のシミュレーションを行い、自立再建、事前登録の希望者に示し、納得の上で登録してもらっています。

問

18歳までの医療費予算は、どのくらい増えますか。

答

高校1年から3年生まで、約300万円とみています。

問

クリーンセンター煙突解体で、ダイオキシンの他に、アスベストの心配はないですか。

答

ダイオキシンは基準値を超えているため、除去作業を高圧洗浄等で行ったのちに解体ですが、アスベストは検出されませんでした。

問

針浜工区のかさ上げで、道路より民家が低くなるのは何軒ですか。大雨や台風時には心配ですが。

答

低くなる民家は2軒ぐらいですが、ポンプで対応します。

契約の一部変更

○女川町防災集団移転促進事業発生土仮置場整備事業業務委託

御前浜仮置場の契約期間の延長と新たに野々浜仮置場を追加したことでの事業費の増加・変更前の金額

1億9978万円
変更後の金額
7億2034万2千円

契約の締結

工事名	女川町クリーンセンター煙突解体撤去工事	浦宿猪落線（針浜工区）道路改良工事	女川浜地区雨水排水施設整備事業（その2）業務委託
金額	7125万5160円	1億2636万円	5億5898万3000円
契約の相手方	(有)エヌエステクノ喜多方営業所	佐藤工業(株)	独立行政法人都市再生機構
工期	平成27年6月19日～平成27年12月25日	平成27年6月19日～平成28年3月11日	平成27年6月19日～平成28年3月31日
概要	高さ40メートルの煙突解体撤去他	冠水対策として道路のかさ上げガードレール設置他	女川浜地区雨水排水施設整備業務の施行一式

出島辺地総合整備計画

辺地を包括する市町村について、必要な財政上の特別措置等が定められていることから、出島架

橋建設事業を辺地総合整備計画と位置付け、定めるもの

一般会計補正予算

漁港荷捌場建設

事業費に37億円

歳入歳出予算にそれぞれ55億8027万3千円を追加し、総額を405億3732万5千円としました。

◇歳出の主なもの

- ・臨時福祉給付金事業費 1788万7千円
- ・子育て世帯臨時特例給付金事業費 376万5千円
- ・万石浦漁港新規指定資料作成業務委託料 720万円
- ・女川漁港荷捌場建設事業費追加措置 37億1117万2千円
- ・宮ヶ崎地区仮設加工場移設工事 7020万円
- ・出土遺物整理作業業務委託料 2174万円
- ・再生可能エネルギー導入可能性調査業務委託料 1500万円

消費税引き上げ 緩和策

問 消費税引き上げを緩和するための臨時給付金の内容は、

答 町民税非課税者で住民基本台帳に登録されている2千人が対象。1人6千円を2千人分、1200万円の措置です。

問 子育て世帯臨時特例給付金の対象者は、

答 平成27年6月分の児童手当を受給されている方で、所得制



出土した縄文式土器（内山遺跡）

限があり、3千円の700人分を見込んでいます。

万石浦を漁港指定に

問 万石浦漁港新規指定資料作成業務委託料720万円ですが、

答 これまで万石浦地区は、町の単独事業で行ってきました。

今年度中に万石浦地区を漁港に指定し、29年から漁港と認定されれば、整備の最低2分の1の補助金がつきます。一般財源の軽減にもつながります。

内山・崎山遺物を 保存

問 文化財保護費、出土遺物整理作業業務委託料2174万円の内容は、

答 内山遺跡の二次分と崎山遺跡から出土した遺物の整理作業で、金額は、内山分560万円、崎山分1590万円です。

管理場所は、旧第一小学校図書室（内山分）、野球場更衣室（崎山分）です。

仮設工場の 移設場所は

問 宮ヶ崎地区仮設工場移設工事の7020万円ですが、どこへ移設するのですか。

答 中央荷捌場解体に伴って、中央荷捌場裏の8区画の仮設工場（現在は3業者入居）を、旧共和冷凍前に移転させる内容です。

再生可能エネルギー 導入は

問 再生可能エネルギー導入可能性調査業務委託料1500万円は、どのような内容ですか。

答 太陽光、太陽熱、風力、小水力、バイオマス等について利用状況や利用可能量、公共施設等における需要量の調査等を行い、有望なエネルギーを抽出し、導入の可能性があるか、新電力事業導入の可能性を検討する内容です。

説明員多すぎませんか

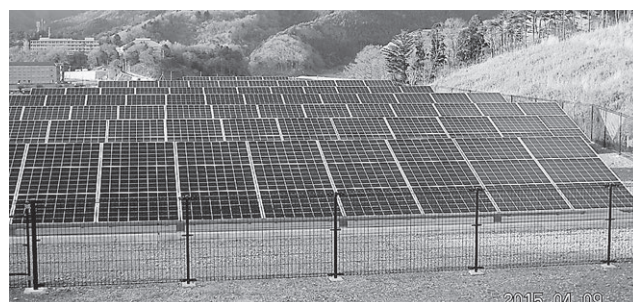
問 土木費の人件費補正4千万円ですが、集団移転事業の遅延

答 説明会のため、町長以下フルメンバーでの参加でしたが、通常は、必要最低限の人員で対応しています。

発議案（意見書）

○仙台地方裁判所石巻支部管内の司法機能の充実を求める意見書

仙台地方裁判所石巻支部において、合議事件、不動産競売、債権執行及び労働審判を取り扱うこと。また、仙台地方檢察庁石巻支部に検事を常駐させることを強く求める意見書を全会一致で可決し、関係行政庁に送付しました。



いち早く導入された太陽光発電（眺湾荘）

第3回臨時会

平成27年4月30日開催

一般議案

財産の取得

- 寺間地区災害公営住宅
戸建て6戸購入契約
- 取得金額
1億7280万円
- 取得の相手
女川町復興公営住宅建設推進協議会

問 外にある流し台は、台所に近い方がいいのでは。

答 敷地を有効に活用すること、利用者に説明をし、了承を得ています。

契約の一部変更

- 地方卸売市場東荷捌場建設工事を約5054万円増額
- 変更後の金額
16億1089万円
- 変更内容
鉄骨梁のプレート補強、集水枡と集塵力ゴの追加、そして消火設備等の変更

契約の締結

- 女川漁港施設強化事業用地嵩上業務委託
- 契約額
1億5400万円
- 契約の相手方
独立行政法人都市再生機構
- 委託概要
石浜、宮ヶ崎、伊勢における水産加工団地の用地1・2を整備

一般会計補正予算

地方創生に向けて民間から人材を

歳入歳出予算にそれぞれ3億7705万2千円を追加し、総額349億5705万2千円としました。



鉄骨梁のプレートを補強
(市場東荷捌場)

歳出の主なもの

- 地方創生人材支援負担金
900万円
- 出島架橋建設事業費(測量調査等)
2億2237万8千円
- 防集事業発生土仮置場整備事業委託料
1億9061万7千円

問 地方創生人材支援負担金の内容と財源は。

答 地方創生を進めるための国の制度で、本町へは民間(みずほ総研)からの1人分です。財源は、全額町費です。

委員会活動

議会改革調査特別委員会

(調査内容)

- 議会の役割、活性化を図るため、次の調査事件を研究することを目的に、平成25年12月に設置、平成27年2月12日まで7回開催した。
- ①議員定数について
- ②議員報酬について
- ③大災害における議会の対応について
- ④通年議会について

(調査概要)

①県内22町村議会実態調査表によると、議員定数10人が1町(七ヶ宿町)、12人が1町(女川町)、14人が6町村、15人が3町、16人が5町、18人が4町、20人が2町となっており、女川町は人口数で22町村内で19番目、議員定数で21番目、議員1人当たりの人口数は600人で19番目となっている。

議員定数は人口比が基本となるが、復興途中で

もあり、現在の議員定数を維持し、次回構成される議員が検討することが望ましいとの意見が多かった。

②県内22町村議会議員報酬等に関する調べによると、県内22町村の議員報酬月額額は、20万4千円から31万3千円の範囲になり、平均は23万8千円となっている。本町の月額は24万円で上から9番目、年間総支給額では上から14番目である。

③女川町議会には、震災対応指針がなく、災害時に迅速な意志決定と町民の要望に対する議会の機能維持を図るため、議員の行動基準等の災害対応指針等を検討し策定すべきとの意見で一致をみた。

④通年議会は、定例会の会期を一年として、議会閉会時期がない制度である。現段階での通年議会の導入は、時期尚早との意見も多く、その必要性に疑問視する意見もあった。

(調査結果)

①議員定数については、町民の意見を考慮しながらも、復興に伴う会議の増加や本町の将来像も含めて議論した結果、現状の12人を維持すべきとの結論とした。

②議員報酬については、復興途中であり現状維持とした。

③大震災時における議会の対応については、「女川町議会災害対策指針」及び「女川町議会災害対策会議設置要綱」を策定し、施行することとした。

④通年議会については、復興途中であり、通年議会導入のメリットはないと判断し、現状どおりとすることにした。

常任委員会

総務民生及び産業教育常任委員会の閉会中の調査事項は、次のとおりです。

○総務民生常任委員会

○地方創生について

産業教育常任委員会

○小中一貫校の取り組みについて

女川魚市場

女川の顔となる女川魚市場の東荷捌場が完成しました。

これを機に、予算の執行が目に見えるように、年に1度「復興シリーズ」として特集することになりました。

第1弾として、女川魚市場を紹介します。



株式会社 女川魚市場
加藤 実 専務

岸壁、東荷捌場が完成し、水揚げの増加を見込める。漁船誘致し、加工場の年中稼働体制を企りたい。

やる気のある若者募集！



第三十五八興丸

東荷捌場での水揚げ風景

岸壁総額 34 億 8489 万 2500 円
東荷捌場 16 億 4810 万 2000 円
平成 27 年度、中央、西荷捌場・管理棟
36 億 6785 万 7000 円
(事業は平成 28 年度も継続します)



宮城県漁協女川町支所
阿部 彰喜 運営委員長

沿岸漁業者にとって、魚市場が最寄りなことは、運送コスト等でメリット。地場産品を扱う業者が増加し、後継者の育成を願う。

復興シリーズ 第1弾

海の玄関



女川魚市場買受人協同組合
高橋孝信 理事長

時化時の係留、出航までの迅速さが可能になった。水産業界、商店街とが相乗効果、波及効果を得られる運用を確立し、魂を入れてほしい。



鯉が大漁
(H27.7.13)

新たに建設が始まる管理棟には、見学スペースがあります。競りや水揚げ風景も見られます。町民に親しまれる魚市場。生活の一部としての魚市場。ぜひ見に来て下さい。



女川水産加工業協同組合
鈴木忠吉 組合長

地域間競争に勝つ、魅力ある市場、魚食を勧めるため市場のフル活用。来て、見て、食べて、楽しんでもらう環境づくり、仕掛けづくりに協力しあっていきたい。



一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。



町政を問う

9 議員が質問



佐藤 良一議員…………… P 9

- (1) 復興後の行政区再編をしっかりと
- (2) 日蔵地区の道路新設を

高野 博議員…………… P 10

- (1) 安全はルールを守ることが基本
- (2) 復興を住民本位で
- (3) 給付型奨学金制度を

阿部 律子議員…………… P 15

- (1) 原発に対する不安はありませんか
- (2) 交通の利便性を高めるために
- (3) 狭隘^{きょうあい}道路の改良を

平塚 勝志議員…………… P 11

- (1) 震災復興後の周辺等道路の整備を
- (2) 鹿の駆除対策は十分か

佐々木新一郎議員…………… P 16

- (1) 若者(子育て世代)を、議会に
- (2) しっかりとした財源の下に、町づくりを

阿部美紀子議員…………… P 12

- (1) 国の原発テロ被害試算の公表を
- (2) 地方創生、廃炉後の女川を考えるべき

酒井 孝正議員…………… P 17

- (1) 御前林道の拡幅工事着工を
- (2) 出島架橋着工に伴い、専門部署の新設を

木村 征郎議員…………… P 13

- (1) 今こそ目に見える若者優先策を
- (2) ゆぼっぼは利用者の視点で改善を
- (3) 小中一貫校建設の町の負担額は

阿部 薫議員…………… P 14

- (1) 離半島地区で区画造成後の町有地は
- (2) 女川京ヶ森線完成への進捗は！

あなたも議会を 傍聴してみませんか

■次回の定例会は9月3日からの予定です。

■詳しくは町議会事務局(電話54-3131内線271)へ

お気軽にお問い合わせください。



Q 復興後の行政区再編を しっかりと

A コミュニケーションの場を大切に支援

Q 新行政区大原北
区が昨年7月に新
設され、今後、新行政区
が新設してきますが、行
政区の区割り、どのよ
うにしていくのか。その
際、既存住宅地区に再建
する人、新規住宅地区に
再建する人との意識の違
いが浮きぼりになってい
ます。

先般、社会福祉協議会
の住民懇談会での、自立
再建者の意見は、地域の
コミュニティを一番心配
しており、被災者同志は
共通した問題があり、既
存地区との行政区には課
題や心配事が多く、同一
行政区はあまり望んでい
ません。

そこで伺いますが、今
後の行政区の区割りとは
合区したことにより、行
政としてのメリット、デ
メリットは。さらに地域
支え合いは必要課題と地
域での見守り、コミュニ
ティづくりはどう図られ
ていくのですか。

A 町長
総務・健康福祉課長

被災地域の行政区の区

割りは、世帯数・面積・
道路境での区割り・防集
団地やAエリア単位での
区割りの4点を基本に調
整、準備を進めています。
既存の行政区に組み込
まれるものや合体するタ
イプもありますが、行政
としてのメリット、デメ
リットとしては、区内の
交流対象範囲の拡大によ
る活性化と負担、行政委
員等の選出、各種行事の
参加者確保、地域の問題
解決のための窓口数、災
害発生時等の住民対応の
迅速化と範囲の拡大、行
政コスト、地区内公共施
設との距離などが挙げら
れます。

課題も多くありますが、
新しい地域のスタートに
はコミュニティ形成のた
めの働きかけが大切です。
住民の自立の妨げとなら
ないよう配慮しながら支
え合い事業を展開し、人
材育成や活用を支援する
とともに、コミュニケー
ションの場も確保し円滑
な立上げが図られるよう
努めていきます。

日蔭地区の 道路新設を

Q 日蔭地区18世帯
は震災後、隣人同
志が協力し合いながら、
今日に至っています。し
かしながら、住人の高齢
化に伴う心配事が大変複
雑化しています。

第一義に緊急的事態が
生じた場合どう対処した
らよいのか、この地域は
道路は狭隘で一部旋回す
る場所はあるにせよ、後
続車が続いた場合緊急車
両等が入ってきて、U
ターンする場所も無くな
り、初動体制も遅れ大変
な事態が予測されます。
そのためにも運動公園に
通りぬける道路の新設は
必要と思いますが伺いま
す。

必要性は十分 認識している

A 町長
清水地区について

では、現在復興事業で区
画整理事業による土地造
成工事が進んでおり、こ
の事業の進捗状況をみな

がら、より良いルートを
考えていきます。また、
事業を展開するうえで必
ず発生する用地取得の問
題についても関係する地
権者の同意を得ながら進
めていきます。

当面当該地区において
災害が発生した場合には、
必要な行政サポートをし、
地区住民のコミュニティ
力を発揮していただきな
がら対応していきます。



狭隘な日蔭地区新設道路が望まれる



Q 安全はルールを守ることが基本

A 原則論を堅持し配慮した対応を要請

Q 福島ではいまだ12万人が故郷を追われ、2号機ではベントに失敗し格納容器が破損、大量の放射性物質が放出されました。なぜベントが失敗したのか、検証が待たれます。

①新規基準の適合性審査中、まだ再稼働の同意を得ていない中で、2号機の新燃料の搬入予定とは、不適切極まりない行為ではありませんか。

見解を伺います。

②女川原発の使用済み燃料はいつまで保管をしなければならぬのですか。サイトには置かない約束です。見通しも対策もなく再稼働をして、使用済み燃料を増やすことは絶対に許されません。立地自治体としての認識と見解を伺います。

③女川原発の工事参加会社、社会保険未加入会社が存在するのではないかと内部告発があります。ことは原発の安全に直接かわる労働者の問題であり、調査し改善と報告を求めます。



盛会だった、7・4「避難計画」講演会

A 町長
企画課長

①震災前に締結した形成的に輸送が行われるものです。事業者には、町民の感情などにしっかりと配慮した対応を取るよう要請しています。

②本町としては、原則論をしっかりと堅持しつつ、対応していきます。国においては、前面に立つて問題解決に取り組む姿勢が示されており、核燃料サイクル政策全体としての体制づくりを着実に進

展させるよう、全国原子力発電所所在市町村協議会など通じて強く要請していきます。

③元請会社はすべて加入していますが、一次協力企業の一部において、労働者の未加入があり、これは、一人親方など個人の意思で加入していない人となっています。

なお直接関与できない二次下請企業などに対しても、既に指導や啓蒙活動を行っているとの報告を受けており、状況を適時確認していきます。

復興を

住民本位で

Q 災害公営の遅れは、長期避難生活に耐える住民の大きな負担です。

①残土搬入を水曜日だけではなく回数を増やし、小規模商店にも適用を。

②遅れている災害公営住宅の建設を急ぎ、段階的に供用開始の検討を。

段階的な 供用開始を検討する

A 生活支援・復興推進課長

①造成宅地の完成に伴い、搬入が増加することから受入態勢を勘案し、段階的な回数増を検討します。

戸建住宅と同等の小規模商店建設残土も対象です。

②集合住宅で、団地内に複数棟となる場合は、段階的な整備・供用開始が可能か検討します。

給付型 奨学金制度を

Q 卒業しても若者は奨学金返済で苦しんでいます。

①県内で加美町が給付型奨学金制度を実施、全国の実態を伺います。

②本町でも給付型奨学金制度を検討し、実施すべきではありませんか。

さまざまな施策を 加味した上判断します

A 教育長

①全自治体の約6割が奨学金支給の実績があり、その中で給付型の奨学金支給を実施している自治体は約23%あります。

②首長部局のさまざまな施策を加味した上で判断することが必要です。



Q 震災復興後の 周辺等道路の整備を

A 県及び石巻市と更なる連携強化を図る

Q 本町を取り巻く道路状況は、震災前から地形上の不利な環境もあり、貧弱な状況です。

主要な道路をより良く整備することは、生活、産業、医療、観光そして災害の避難など、種々の分野に大きく影響し、今後の本町の未来にもつながるものと考えます。復興期間が終了した時点が、新しい女川のスタートとも言えます。そこで、次の点について伺います。

①国道398号、県道女川牡鹿線及び石巻市道屋敷浜猪落線の現況と、今後の要望を含めた整備状況について。
②国道398号北浦方面（崎山・竹浦）の現状と抜本的対策は。

A

建設課長

①県で施工している国道398号石巻女川線浦宿バイパス及び県道女川牡鹿線については、順調に経過していると県から報告を受けています。また、石巻市で施工

している市道屋敷浜猪落線については、当初平成28年度完成を目指していましたが、ルート変更などにより完成時期が遅れる見込みです。

②崎山地区及び竹浦地区については、10月までの完成を目指して鋭意努力していると報告を受けていますが、今後の町民の安心・安全を守るためにも、崎山地区においてルートの変更を含めた対策が必要であることを本町から県に対し強く要望します。



国道398号(崎山)抜本的対策を！

鹿の駆除対策は十分か

Q 防災広報無線から、猟銃による鹿の駆除の放送が流れる度に、その対策に苦慮しているものと思われま

す。確かに、まだまだ減っておらず、町内各所にその姿を現わし、農作物が荒らされるとか、車両との接触事故も度々あります。そこで伺います。

①本町と周辺市町の鹿の

生息数と、駆除数の現状と推移は。
②今後の駆除方法と取り組みは。

駆除の拡大を図っていきます

A 産業振興課長

①本町と周辺市町の生息数は、宮城県が実施した生息密度等の調査結果と捕獲実績から約4400頭と推測されます。

平成26年度の捕獲実績は、猟銃90頭、罠4頭、網への絡まり21頭など、合計120頭です。
②今後は、罠による捕獲に重点を置くべきと考え大規模な罠の設置を検討します。

また、試行的に鹿の生息を確認する監視カメラを設置するとともに民間会社と捕獲の研究を行いながら、今後駆除の拡大を図っていきます。



ますます増える鹿の対策は



Q 国の原発テロ被害試算の公表を

A 包括的な安全性向上対策を今後も要請

Q 首相官邸にドローンが落ちたという事件がありました。女川原発付近に自衛隊機が墜落した、三陸沖にテポドンが発射され、着弾したという事実もあります。1981年イラクの原発が爆撃されたことを受け、1984年に外務省が作成した、原発攻撃被害の試算があります。

それによれば、15〜25キロの範囲で、緊急避難しない場合、最悪1万8千人、平均3600人が急性被曝で死亡。5時間以内に避難した場合、最悪8200人、平均830人が急性被曝で死亡です。

農業、居住など土地利用制限は、最大86・9キロ、平均30・6キロです。

現在、各地で地震や火山が不気味な動きを見せています。復興した、しかし、誰もいなくなった、では困ります。

女川原発から60キロ圏内には、200万人が住んでいます。

住民を守って下さい。試算の公表を求め、防

災対策の見直しをすべきではありませんか。

A 町長

航空機落下については、確率的な発生頻度から想定される外部事象としては設計上考慮する必要がないとされてきました。

新規制基準では、意図的な航空機衝突等への対策として、故意による航空機の衝突その他のテロリズムへ対応する要求がされており、重要設備等の機能を確保する、または、事故が大きくならないための対策が求められています。なお、新規制基準においては、あらゆる事象を含めて包括的な安全性の向上のために常に新たな知見などが反映され見直されていくものであると認識しています。まずは、新規制基準による物理的、運用的対策がきちんと対応されることが大切です。

安全は積み重ねによって確立されるものであり、防災対策などについて、今後も国や事業者に要請

していくとともに町の対応として各種対策にしっかりと取り組みます。

地方創生、廃炉後の女川を考えるべき

Q

地方創生とは、新しい可能性を追求することだと言います。歴史上でも、時代や工

ネルギーの変遷はありました。富岡製糸場は、チヨンマゲ時代から5年後に、土族の子女が働く場となり、炭鉱の閉山では軍艦島は無人に、夕張は財政破綻、常磐ではフラ



未来を意識した女川づくりを

ガールが生まれました。女川原発も、必ず廃炉を迎えます。その時、女川はどのような道をたどるのか。

※「もちは物はイノチ一個となりけり。」

廃炉後の女川を見据え、考えていくべきでは。

※恩師津田公子先生の句

持続性と活力を維持できるまちづくり

A 町長

本町の財政における原子力発電所の固定資産税等は相当分を占め、廃炉になれば関連する雇用、経済効果も失われ、今の行政サービスの維持は不可能になります。

震災復興は、将来までの持続性があり、活力も維持できる町をつくる、これこそが地方創生の本質的な部分であります。

チャレンジできる環境整備や育成、それが経済の持続性に繋がり、結果、税収等にもはね返り、縮小しながらも施策が継続性をもてるものと考えます。



Q 今こそ目に見える若者優先策を

A 公営住宅等整備は若者世代も包含 ぼう がん

Q 今後の町づくりを考えるうえで、一定人口の定着は町の活性化に不可欠と考え、次の点を伺います。

- ① 最短で5年後の戸建災害公営住宅の払い下げ価格を早急に公表し、被災者の将来設計に資するべきと考えますが。
- ② 高台造成地は希望者が減少し、集合住宅は間取り等のミスマッチが目立ちます。早急の対応策を。
- ③ 町づくりに若者の参加は重要です。復興途上の今こそ若者専用住宅等目に見える若者優先策を行うべきと考えますが。

A 町長
生活支援・復興推進課長

- ① 戸建災害公営住宅の払い下げは国の承認が必要ですが、払い下げの目安となる想定価格については、早い時期に示したいと考えます。
- ② 災害公営住宅の事前登録の結果、少人数世帯用が不足しているため、後年度着工地区で確保したいと考えます。

- ② 造成宅地は、現時点で60宅地の残があり、7月以降に最新版の空き状況を公表、8月からは防集対象者以外にも枠を広げ募集していきます。
- ③ 現在行っている公営住宅等々の整備の中で、若者世代も包含し、実施していくものと考えています。

ゆぽっぽは利用者の視点で改善を

Q 国のまち中再生計画の認定を受け

- て、町の中心部が形成されつつあります。新生女川の表玄関としての重要性を認識しながら次の点を伺います。
- ① プロムナード入店者への建物引き渡し時期は。年内一斉オープンが可能ですか。
- ② ゆぽっぽの駐車場は分かりにくく、駅の交流スペースのドアは重すぎる等改善点が多々あります。利用者の立場でできることから改善を。



新生女川の表玄関始動！

指定管理者と連携し、改善します

A 町民・産業振興課長

- ① テナント商店街の本体建物は10月末まで、その後内装工事1・5ヵ月を経て、一斉オープンの予定です。
- ② ゆぽっぽは暫定駐車場看板2カ所の表示については、1枚のところを2枚に増やして上下線の車両から見えるように改善します。

- また、交流スペースの大きいドアについては、高齢者等でも容易に開閉できるように配慮し、開放時間は、女川駅利用者のことも視野に入れ、始発列車から終電列車の間帯も使用できるよう指定管理者と連携し、改善します。

小中一貫校建設の町の負担額は

Q 新しい町づくりの核に、小中学校を位置づける理念には共感しますが次の点を伺います。

- ① 小中一貫校の意義、利点等について、町民の理解が不足していると考えますが。
- ② 一貫校の建設には多額の事業費が予測されます。震災の被害物でない学校建設の町負担額は。
- ③ 昨年度の中学校の卒業式に多数の欠席者がましました。教育委員会は実態を重く受け止め、今後に生かすべきと考えますが。

町の負担額は、現時点では未定です

A 教育長

- ① 情報発信の機会には少なかったと反省しています。機会を見つけ、小中一貫教育の理解促進に努めていきます。
- ② 財源につきましては、復興庁担当者との話し合いを継続中です。現時点では結論は出ておらず、町の負担額は決まっていません。
- ③ 大変ショックを受け、重く受け止めています。なぜあのようなになったかを分析し、今後の指導に生かしていきます。

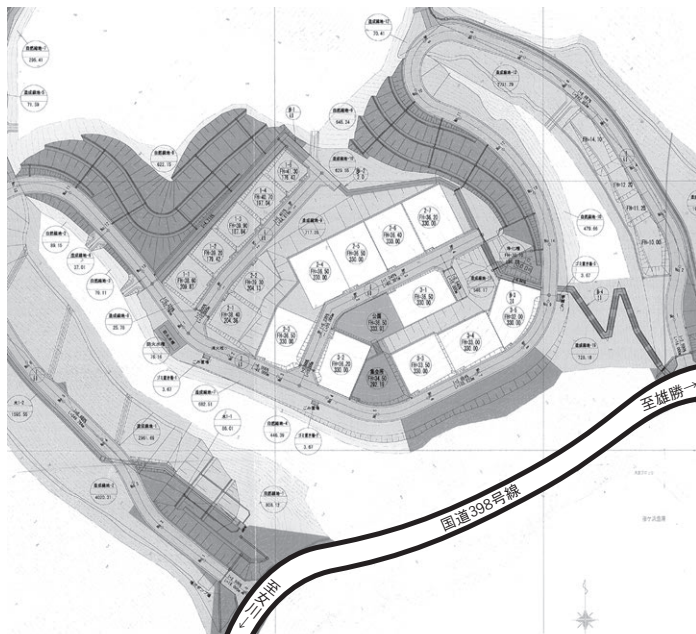
Q 離半島地区で 区画造成後の町有地は

A 国と調整を進めながら検討していく



阿部

薫議員



指ヶ浜土地利用計画図（余裕区画無し）

Q

町長の施政方針では、離半島地区宅地造成は全部で14地区16工区となり、完成地区より入居が進み、安住の地となり、町民各位も少しずつではあります笑顔が良く表情も明るくなってきました。

①各地区の余裕区画と、災害公営住宅に65才以上の一人暮らしの世帯数は。②タータン、タータン希望者に対しての宅地供給区画はどの位できますか。

①各地区の余裕区画と、災害公営住宅に65才以上の一人暮らしの世帯数は。②タータン、タータン希望者に対しての宅地供給区画はどの位できますか。

A

復興推進・生活支援課長

女川京ヶ森線
完成への進捗は！



未開通現況（女川工区）

Q

大雨、高潮のたびに町内での冠水と孤立。また復興事業における、地区道路の切替で発生する通勤時の混雑。緊急事態が発生しない事を祈るばかりです。

A

町長
産業振興課長

進捗率88%
早期完了を目指します

①林道整備事業における県予算額は、2億5027万円で、1294本の開設を計画しており、全線の開設が終了します。②現在、全体の進捗率は

さらなる質問を致します。①林道整備事業における平成27年度の県予算額は。②平成27年も4、5月と2ヵ月半経過しています。③最終的に平成28年3月末までには開通となりますか。

88%、本町に係る開設済みの延長は、5642mで進捗率は81%、県では、残りの全区間の工事発注準備を行っています。③舗装工事は、次年度以降となりますが、平成27年度の開設工事は、今後とも県と連携をしながら、早期完了を目指します。



Q 原発に対する不安は ありませんか

A 多様多重の安全対策を 重ねることが重要

Q

東日本大震災以降、世界や日本で、頻発する地震や火山の噴火等が続き、町民の間でも原発に対する不安の声が上がっています。

①町長はこのような異常な状況の中で、原発の再稼働に対する不安はないのですか。

②福井地裁は、4月に関西電力高浜原発3・4号機の再稼働差し止め仮処分を決定。原子力規制委員会の審査そのものを、合理性がなく信頼できないと判断しましたが、このことについての見解は。

③女川原発再稼働の判断にあたっては、町民の間で十分な議論ができるような機会を設け、町民が納得のいく形で進めていく方法を取るべきと考えますが。

A

町長

①新規制基準では、「深層防護」を基本として、自然現象とそれ以外でも共通要因による安全機能の喪失を防止するため多様多重の対策が要求されています。これらの対策

を重ねていくことが不安解消につながるものであり重要だと考えています。

②個々の発電所で地勢要件などは異なり、同様の訴訟も継続していることから、新規制基準その他の合理性など安全確立の観点から上級審を含め、動向を注視していきます。

③さまざまな取り組みやプロセスが求められる中で、先行地域の状況も見ながら、住民へのわかりやすい説明と同時に、議会や関係自治体の判断を踏まえ結論を出していくべきと認識しています。

交通の利便性を 高めるために

Q

国では来年度以降、復興事業の自治体一部負担との話も出ていますが、今後の町民バスの運行について伺います。

①国の補助事業がなくなった場合の考え方は。

②住民の要望の中で、まだ改善すべき点はあると思います。例えば五部浦、北浦の下り便は2便しかなく、もう1便との声も。

③時間短縮のため、デマンドタクシーの復活を望む声もありますが。

A

企画課長

①補助事業が終了した場合でも町民バスの運行維持は必要と考えていますが、自主財源確保の観点から有償化に向けた検討を行っています。

②町民バスの運行はアンケート調査のうえ、利用者の利便性を考慮しつつ、ダイヤ改正を可能な範囲で実施していきます。

③今後も復興状況を踏まえ、本町に適した地域公共交通のあり方をさらに検討していきます。

きょうあい 狭隘道路の 改良を

Q

地域住民にとって、狭隘な道路は救急車や消防車等の運行にも支障があり、人命救助や安全面からも早急に道路の拡幅を望む声が多く聞かれます。(眺湾荘、門前等)生活道路の再点検をし、改善できるところから早急に取りかかるべきでは。

A

建設課長

道路拡幅については、区画整理事業の目的が違った段階で用地問題や事業効果などさまざまな要素を見極めて慎重に考えていきます。また、門前地区については、拡幅が難しいため、一小仮設の使用が終了した段階において土地の再利用を協議し、通り抜けできるように検討していきます。

復興事業の終了 段階で検討したい



空地利用で安全・安心な町に（眺湾荘）



Q 若者(子育て世代)を、議会に

A 報酬額も一つの要因か

Q 現職議員の平均年齢が67、68歳の年金支給年齢です。議会活性化、町政進展のためにも、是非、若い世代からの議員の輩出を考えるべきと思いますが。

しかし、子育て世代が現在の議員報酬のみの収入で議員活動が続けていくには、経済的に厳しい状況があります。兼職が可能であればいいのですが、町内外から人材を求めるために、限定的に議員報酬を高くする方法を実施すべきと考えます。

A 町長

町議会議員の報酬は条例で金額等が定められており、その額は特別職給料等審議会の意見を踏まえ決定されています。全国の特に人口規模の小さい自治体では無投票又は欠員が生じる事態が心配されており、報酬額も一つの要因になっているものと思われま

情勢を加味した報酬体系も考えられますが、一方で全ての議員は議員としての使命を常に保持し、その役割を達成すべく尽力されていることに年齢差は関係ないものと思われま

Q 6月10日付の河北新報に、女川町1億円見込む復興事業の地元負担試算が出ていました。ある意味、ほっとしています。

出島架橋、小中一貫校、生涯学習センター等合築の役場庁舎等、それに各種インフラ整備、特に、崎山公園地先の代替道路の心配など、各種事業が山積しています。

大震災に遭遇した各市町は中・短期の財源不足を示していますが、本町は大丈夫ですか。

A 町長

危機感を持った財政運営に心がける

各種補助金等を取り込んで、行財政改革を堅実に進め、その上で、財政調整基金等を取り崩して、しっかりとした財源の裏づけの下、女川町まちづくりの局面です。

復興後も、まちづくりは、町民一人ひとりの幸福のためにあるべきだと思います。

現在見込まれる大規模事業の出島架橋、役場庁舎等の整備、小中一貫校、災害公営住宅建設、また年間7億円の財源不足が発生するという前提で考えると、今後20年間の町の概算負担額は約280億円と想定しています。

これに対する歳入は、財政調整基金と公共施設整備基金を合わせて130億円程度、見込まれる財源として原子力発電施設立地地域共生交付金や災害公営住宅の低廉化事業と低減化事業に係る補



コンパクトシティの中心に小中一貫校案

助金、また大規模事業の起債に伴う交付税算入分等を考え合わせると、町の概算収入は約330億円と算定され、差し引きで20年後の財政調整基金残高は50億円程度と見込んでいます。

しかし、国の財政政策や町の自主財源の状況等不安定要素もあることから、今後も危機感を持った財政運営を行っていかねければならないと認識しています。



Q 御前林道の拡幅工事着工を

A 現状での拡幅工事は困難と考えられる

Q

現在、北浦地区の国道は、崎山付近・竹浦・旧3小バス停付近が片側通行となっている状況下において、復旧工事中でもあり、早期復旧が待ち望まれています。

御前林道は石浜地区造成工事に伴い、通行止めとなっており、御前林道は幅員も狭く、道路勾配もきつく、冬期間は通行止めになる時もあります。そこで伺います。

①御前林道は、現在の北浦地区国道を配慮した場合、その重要度が増大していると思われます。そのため御前林道が通行止めにならないように、拡幅工事が急がれると思いますが、拡幅工事計画はありませんか。

②御前林道は石浜地区造成工事終了後の通行となりますが、通行開始年度は。

A

産業振興課長

①林道御前石浜線は、延長4003㍎、幅員4㍎の二級林道です。本林道の開設については、詳細な現地調査を実施の

うえ最良のルートを取捨選択し開設されましたが、それでも急な坂や数多くのカーブを設置しなければ施工できない路線でした。

幅員を拡幅するには、大規模な構造物と大きな法面を必要とし、一般道として使用するには、ルート変更を要し、事業費も莫大となるため、現状拡幅工事の計画はありません。

②現在、本林道の起点終点の地区で造成工事を実施しており、当初通行止め期間を平成28年3月までとしていましたが、造成工事の進捗の遅れなどで平成28年8月までの延期が考えられます。



御前地区造成工事中、御前林道 拡幅を

出島架橋着工に伴い、専門部署の新設を

Q

5月22日出島「番屋」を会場として、平成27年度出島架橋促進期成同盟会の総会が開催されました。本町にとって長年の夢であった「出島架橋」が建設着工となります。

出島架橋は8年計画であり、事業進捗に伴う体制づくりが急務です。事業規模からすると、専門部署が必要と思いますが、平成27年度中の新設計画はありますか。

A

町長

役割分担しながら
一丸となって事業推進

震災後は町の復興を円滑に進めるため、何度も組織機構の見直しを行い、また全国の自治体や民間等から職員の派遣をいただき、業務委託も活用しながら事業の推進に努めてきました。大きな事業等に際しての専門的な部署の立ち上げは望ましいことですが、



架橋の早期完成、専門部署の新設を

一方で体制の限界もあります。架橋事業に関し年度中の立上げは困難ですが、県や専門的団体等の支援も視野に、それぞれ役割分担しながら最大限できるバランスと人的資源の配置の中で、一丸となって事業の推進を図ります。

平成27年度

議会・住民懇談会を開催

5月11日～16日

	Aグループ		Bグループ		Cグループ	
	場 所	人	場 所	人	場 所	人
5/11(月)	旧 女 川 幼 稚 園	9	出 島 集 会 所	21	指ヶ浜仮設談話室	13
5/12(火)	旧 江 島 診 療 所	15	横 浦 仮 設 談 話 室	9	飯子浜仮設談話室	13
	き ら ら 女 川	4	高 白 仮 設 談 話 室	12	大 石 原 集 会 所	3
5/13(水)	旧第三小仮設談話室	6	旧第三保仮設談話室	11	塚 浜 ・ 小 屋 取 集 会 所	13
	桐ヶ崎仮設談話室	6	大原北コミュニティプラザ	14	旭 が 丘 集 会 所	18
	小 乗 浜 仮 設 談 話 室	12				
5/14(木)	石巻バイパス西集会所	5	蟹 田 仮 設 談 話 室	13	大 沢 集 会 所	9
	石巻バイパス東集会所	20			浦 宿 一 区 集 会 所	18
5/15(金)	浦 宿 二 区 集 会 所	5	上 区 第 二 集 会 所	10	清 水 仮 設 集 会 所	17
			一 小 仮 設 集 会 所	11	新 田 ② 仮 設 談 話 室	19
5/16(土)	多 目 的 仮 設 集 会 所	38	野 球 場 仮 設 集 会 所	9	清 水 二 区 仮 設 集 会 所	8

○参加議員

Aグループ・・・阿部美紀子・佐々木新一郎・佐藤 良一・高野 博
 Bグループ・・・平塚 勝志・阿部 律子・木村 征郎・酒井 孝正
 Cグループ・・・阿部 薫・鈴木 公義・宮元 伸成・木村 公雄

○参加者合計 361人

一会場平均参加者数 12.4人 (29会場)

H22年度・・・349人 (平均 17.4人) 20会場
 H24年度・・・475人 (平均 19.8人) 24会場
 H25年度・・・405人 (平均 16.9人) 24会場
 H26年度・・・343人 (平均 13.7人) 25会場
 H27年度・・・361人 (平均 12.4人) 29会場

5月11日から16日までの6日間にわたり、町内外29カ所の会場で、議員4人1組で3班に分かれ、住民と意見交換するための懇談会を実施しました。復興後の新しいまちづくりへの進捗状況を中心に懇談がなされました。今年、開催会場を増やしたことにより、参加者の合計人数は361人となり、前年度より、18人の増加となりました。復興後の新しいまちづくり

くりへの住民の期待と不安は強く、さらに議員への期待も強くあると思われます。次年度の実施については、開催会場の増加もあり、スケジュールがかなり厳しかったので、4人1組体制を3人1組体制にし、1組の増加を検討したり、地域の状況に合わせた、開催会場や開催時間の検討に、工夫と努力が必要と認識しました。



旧女川幼稚園

【主な質問・提言・要望等】

◎旧幼稚園（上三区）

・上三区の集会所はどこに建設予定か。

◎旧江島診療所（江島）

・旧道の階段が崩れている。近くに民家があり大変危険。

・集会所の設置は、前の離島開発センターの位置に希望します。

◎きいら女川（西二区）

・緊急車輛が通れないので、道路の拡幅と、電柱の移設はできないか。

◎旧第三小仮設住宅

・北浦方面に、午後3時頃の町民バスを運行計画してほしい。

◎桐ヶ崎仮設住宅談話室

・国道398号崎山付近の工事状況と、トンネル対策は。

◎小乗仮設住宅談話室

・コバルトラインへ接続する橋は架かるのか。

◎石巻バイパス西集会所

・テレビが映らない

◎石巻バイパス東集会所

・国道398号ブルーライン崎山付近にトンネルの建設を（北浦通勤者）

◎浦宿二区集会所

・針浜地区簡易水道の水源、地付近の、林道整備はど

うなっているのか。

◎多目的仮設集会所

・地域医療センター下の、宮交バス停留所の位置が危険だ。

・掘切山の高台造成地はなぜ遅れるのか。

・ただ遅れるというだけで、理由の説明がない。

◎出島集会所

（出島寺間区）

・災害公営住宅敷地付近に、ホタテ作業用ハウスを建てられないか。前に駐車場の件で駄目と言われた。

・寺間浮棧橋は、老朽化で腐食している。役場に要望しているが早急に対策を。

◎横浦仮設住宅談話室

・高台造成工事を早く進捗してほしい。休日以外、工事を毎日できないのか、高白、野々浜は、工事を毎日しているため早いのでは。

◎高白仮設住宅談話室

・ダンプカーの運行が、町からの説明と違い、常に運行し増加している。夕方5時頃は乱暴な運転になる。

・五部浦（高白）トンネルの



一小仮設集会所

事を行っているが、地元恩恵がないのでは。

◎上区第二集会所（上四区）

・建設予定の災害公営住宅（大道・荒立地区）の行政地区住民に具体的に説明が欲しい。

・荒立西団地からの建築用と思われるシートやゴミが、強風時落ちてきて、危険なので注意してほしい。

◎一小仮設住宅集会所

・ゆぼつぼの料金を3000円に、休憩所が狭い、浴室が明る過ぎる、浴室の窓から外が見えず目のやり場がない。

・町民バスで医療センターを利用しては、木曜日（眼科は午後診療）の診療時間の改善を。

◎野球場仮設住宅集会所

・フューチャーセンターの出入口の傾斜部分に手すりがなく、雨天時は滑つて危ない。

◎指ヶ浜仮設住宅談話室

・移住、定住漁業従事者を受け入れる、住宅用地はあるのか。

・漁業共済について、取扱品目により、空白期間が発生するため、補助率の検討を。

◎飯子浜仮設住宅談話室

・仮設住宅談話室周辺の通路は、砂利道で転倒をする恐れがあり、生活道路なので舗装工事をしてほしい。

◎大石原区集会所

・港湾船揚場周辺は、がけ崩れが発生し、巻揚げ柱が埋没している。早急な対応を。

◎塚浜、小屋取集会所

・小屋取地区の避難道の勾配が急で登れない、早急な見直しを。

・塚浜、小屋取地区で、船への乗り降りが不便であり、斜め階段の早期設置を。

◎大沢集会所

・大沢地区の河川を土砂竹林等が川の流れを妨げ、洪水の原因となっている、2級河川の補修はいつ頃か。

◎浦宿一区集会所

・浦宿地区冠水対策の説明図は集会所に貼ってあるが、住民に対する詳細な説明会開催が必要ではないか。



清水二区仮設集会所

◎清水仮設集会所

・冠水問題は、生活上早急に対応して欲しい。若い人たちは、会社を休まざるを得ない時がある。

◎新田②仮設住宅談話室

・駅、学校までの通学路となる歩道を確保して欲しい。

◎清水二区仮設集会所

・日蔵地区と新設される高台造成地の行政区が新設される際は、コミュニティを考慮して、集会所の位置についても中間地での建設を。

※報告書については、各地区代表者にお届けしております。

＊うきうき・いきいき



愛情込めた弁当も好評



仲間が勢揃い

照源寺入口の仮設から高白浜に新築した二階建ての「ゆめハウス」。

総勢20人の元気なお母さんたちが交代で、食事、コーヒー、デザートを作って、浜のひとつときを楽しませてくれています。

7月末には、さんまのタイ焼の移動販売車も配備されます。

のんびりと景色の良い高白浜で、食事しながら「ゆめ」を語り合いませんか。

いちじく甘煮も好評です。

電話 0225(25)7486

「ゆめハウス」へ
いらっしゃい

● あとがき ●

今年は、非常に雨の少ない梅雨でした。

間もなく秋刀魚の季節も始まります。

新たな取り組みとして、「復興シリーズ」を企画しました。これまでの予算が、どのように使われたのかという、経過を示したものです。

皆さんから、「議会だより」に対する御意見をお待ちしています。

編集委員長

阿部美紀子

議長	委員	副委員長	委員	委員
長 木村 公雄	阿部 美紀子	佐々木 新一郎	阿部 薫	平塚 勝志
阿部 美紀子	阿部 薫	阿部 薫	阿部 薫	阿部 薫
阿部 薫	阿部 薫	阿部 薫	阿部 薫	阿部 薫
阿部 薫	阿部 薫	阿部 薫	阿部 薫	阿部 薫